

輸送動向について（9月分）

平成26年10月

1. 輸送概況

今月は、北海道地区大雨に伴う影響に伴い、月全体では高速貨18本が運休となった（前年は高速貨448本、専貨4本が運休）。

コンテナ貨物は、北海道産野菜の好調な出荷が寄与した農産品・青果物、清涼飲料水や菓子が発送好調となった食料工業品のほか、積合せ貨物、紙・パルプ等が前年を大きく上回った。一方、自動車部品が海外調達および現地調達化の進展、エコ関連物資が災害廃棄物輸送の終了により、それぞれ前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比109.5%となった。

車扱貨物は、石油が値下がりに伴う需要回復基調により前年を上回ったものの、セメント・石灰石が減送となり、車扱貨物全体では前年比98.9%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,901	1,737	109.5%	10,535	10,192	103.4%
車 扱	682	690	98.9%	3,816	4,064	93.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	236	174	62	135.8%
	化学工業品	181	164	17	110.2%
	化学薬品	125	116	9	107.7%
	食料工業品	281	254	27	110.8%
	紙・パルプ	286	264	22	108.5%
	他工業品	131	134	-3	98.1%
	積合せ貨物	196	171	25	114.7%
	自動車部品	66	75	-9	88.4%
	家電・情報機器	42	41	1	101.7%
	エコ関連物資	33	42	-9	77.8%
	その他	325	304	21	107.1%
	コンテナ計	1,901	1,737	164	109.5%
車 扱	石油	432	428	4	101.0%
	セメント・石灰石	127	139	-12	91.2%
	車 両	64	68	-4	94.0%
	その他	59	54	5	108.8%
		車 扱 計	682	690	-8

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）